

生物教育サポートシステムのご案内

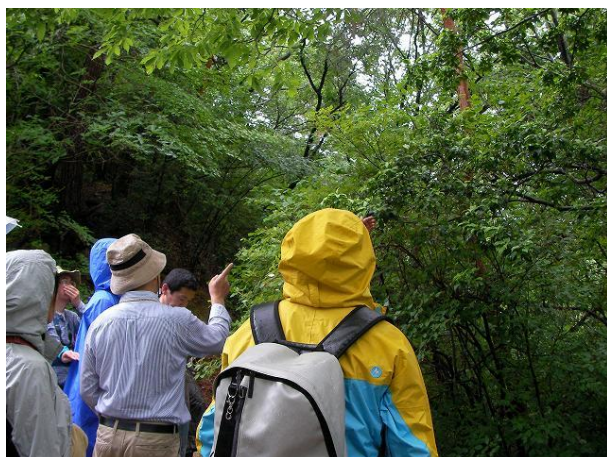
日本生物教育学会では、2009年に「生物教育サポートシステム」をつくりました。これは、生物および生物教育に関するさまざまな知識や技能をもつ会員をあらかじめ登録しておき、その情報をみなさんに提供して、それらの知識や技能を活用していただくものです。

このシステムは、学校の教職員や児童・生徒の授業や学習活動をサポートするのはもちろん、市民対象の自然観察会などの生涯学習活動の講師、あるいは生物や生物教育に関する質問対応など、一般社会からの要請にも応えることができるようになっています。

日本生物教育学会は、この「生物教育サポートシステム」をみなさんに広く活用していただくことにより、我が国の生物教育の向上と発展に貢献することをめざしています。

「生物教育サポートシステム」について、ご不明な点などがありましたら、生物教育サポート委員会事務担当まで、お気軽にお問い合わせください。

サポーターの活動のようす・提供できる情報の例



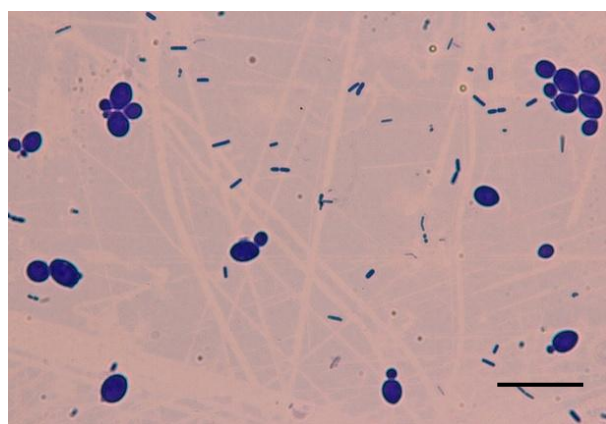
日本の主要な樹林型を植物園で見る
(大阪市立大学理学部附属植物園にて)



学芸の森探訪～植物・昆虫の知られざる世界～
(東京学芸大学にて)



スルメイカの解剖実習



漬物中の微生物の観察 (スケールは $20\mu\text{m}$)
～原核生物 (乳酸菌) と真核生物 (酵母) ～

生物教育サポートシステム Q & A

これまでに多く寄せられた質問を、Q & Aにしてみました。

Q：生物教育サポートシステムとは、どのような制度ですか？

A：生物あるいは生物教育に関する知識や技能を求めている方々を支援する制度です。「生物教育サポーター」が、求めに応じてさまざまな知識や技能、生物教材やその情報などを提供します。

Q：サポーターは、どのような人たちですか？

A：サポーターに登録した日本生物教育学会の会員です。現在50名あまりが登録されています。その多くは、教員や研究者ですが、退職された方も含まれています。

Q：サポートシステムでは、どのようなサポートが受けられますか？

A：サポーターによる事業には、主として次の3つがあります。

- (1)生物教材やその情報の提供
- (2)講演会、観察会などの講師
- (3)生物教育やそれに関する質問や相談への対応

Q：サポートシステムの利用方法を教えてください。

A：日本生物教育学会のホームページ (<http://sbsej.jp/>) から、どなたでも利用できます。利用の流れは、次の通りです。

- (1)「生物教育サポートシステム」の「サポーター登録者一覧」(地区別に並んでいます)から、利用したいサポーターを選びます。
- (2)「サポーター詳細」をご確認の上、そのページにある「申し込みフォーム」から申し込んでください。申し込んだ内容がサポーターに直接届きます。
- (3)申し込んでから10日以内にサポーターより連絡がありますので、詳しい打ち合わせをしてください。

Q：サポーターに依頼するとき、講師料などの費用が必要ですか？

A：講師料（講師謝金）は不要ですが、交通費や材料費などの実費は必要です。また、野外活動の指導などでは、傷害保険に加入していただく必要などもあります。

Q：サポートを受けたのちの報告などは必要ですか？

A：サポートを受けた方には、報告書の提出をお願いしています。詳しくはサポーターにお問い合わせください。

日本生物教育学会ホームページ URL <http://sbsej.jp/>

生物教育サポート委員会事務担当 [e-mail : support@sbsej.jp](mailto:support@sbsej.jp)